

公認会計士法の一部を改正する法律案

我が国資本市場の活性化

・我が国資本市場の活性化のためには市場の公正性・透明性の確保による投資家の信頼の向上が不可欠
 (←「証券市場改革促進プログラム」平成14年8月)

投資家にとって魅力ある市場にするため
 インフラである公認会計士監査制度の充実・強化が不可欠

監査と会計の複雑化・多様化・国際化

・グローバル化を背景とした監査証明業務を中心とする公認会計士業務の質的量的変化に対応していくことが不可欠

質を確保しつつ、多様な人材を輩出していくための試験制度等の改革が不可欠

国際的な信認の確保

・米国エンロン事件等の一連の会計不祥事
 → 米国企業会計改革法をはじめとする各国の監査制度改革の進展
 ・我が国におけるバブル崩壊後の会計不正

監査人の独立性の強化や監視・監督体制の充実・強化等による我が国監査制度に対する国際的信認の獲得が不可欠

公認会計士監査制度の改革は喫緊の課題

【法律案の概要】

○公認会計士の使命・職責の明確化

・監査及び会計の専門家として、独立した立場において、会社等の公正な事業活動、投資家及び債権者の保護等を図り、常に品位を保持し、知識及び技能の修得に努め、公正かつ誠実に業務を行わなければならない旨を規定

○公認会計士等の独立性の強化

・監査証明業務とコンサルティング業務等の非監査証明業務の同時提供の禁止
 ・監査法人内部において同一の公認会計士が一定期間以上同一企業を担当することを禁止する交代制の導入 等

○監視・監督体制の充実・強化

・監査法人等の業務運営の適正性の監視のための立入検査権の導入
 ・監査証明業務の独立性の確保のため、監査法人の内部管理や審査体制についての公認会計士協会による指導や監督（「品質管理レビュー」）を行政（公認会計士・監査審査会）がモニター

○試験制度の見直し

・現行の試験体系の簡素化
 3段階5回→1段階2回 + 実務補習修了の確認
 ・一定の能力を持つ実務経験者、専門的人材育成の教育課程の修了者等に対する試験科目の一部免除

○監査法人の社員の責任の一部限定

・指定社員制度の導入により、監査に関与しない社員の責任を限定

○規制緩和等関連規定の見直し
 ○監査法人設立の届出制化

